第21 屋外貯蔵タンク内部点検期間延長届出

(危険物規則第62条の5)

1 屋外貯蔵タンク内部点検期間延長届出に必要な書類

- (1) 屋外貯蔵タンク内部点検期間延長届出書
- (2) 必要に応じて内容を確認できる資料を添付すること。

2 危険物規則第62条の5 ただし書の適用基準

- (1) 危険物規則第62条の5 ただし書の適用による内部点検期間の延長は、保安上の観点から判断し必要最小限のものに限り適用されるものであり、次によること。(昭和57年3月31日消防危第42号)
 - ア 災害その他非常事態が生じた場合
 - イ 保安上の必要が生じた場合
- (2) 保安上の理由以外は認められないものであること。

第21の2 特定屋外タンク貯蔵所の内部点検時期延長届出

(危険物規則第62条の5)

1 特定屋外タンク貯蔵所の内部点検時期延長届出書に必要な書類及び編さん

特定屋外タンク貯蔵所の内部点検時期延長届出書に必要な添付書類は、次のとおりとし、編さん順序は、必要な添付書類の掲載項順に編さんすること。

(1) タンクの腐食防止等の状況に係る届出及び危険物の貯蔵管理等の状況に係る届出の共通書類

ア 特定屋外タンク貯蔵所の内部点検時期延長届出書（タンクの腐食防止等の状況）（危険物規則様式第33）又は特定屋外タンク貯蔵所の内部点検時期延長届出書（危険物の貯蔵管理等の状況）（危険物規則様式第34）

イ アスファルトサンド等の敷設または電気防食措置の設置等、タンク底部外面の腐食防止措置に関する施工図面

ウ アニュラ板等の側板外面張出し部における雨水浸入防止措置に関する施工図面

エ 第3章第13「特定屋外タンク貯蔵所の内部点検及び補修に関する指針」の内部点検要領に基づいて行われた点検資料

オ タンク本体（底部板及び側板に限る）の現状を示す図面

カ タンク本体の経年（3年間以上）沈下量測定記録と測定時の液面高さを示した書類

キ 過去1年間の教育訓練実施記録及び施設の巡視・点検記録並びにこれらの実施計画、実施要領を記載した書類

(2) タンク腐食防止等の状況に係る届出の場合

ア 「特定屋外貯蔵タンク内部の腐食を防止するためのコーティングに関する指針について」（平成6年9月1日消防危第74号）別紙1に基づくチェックリスト

イ 危険物保安技術協会が実施する屋外貯蔵タンクのコーティング管理技術者に対する講習会の修了証写し等、コーティングの施工に関して専門的技術及び経験を有すると認める事のできる書類

ウ その他

(3) 危険物の貯蔵管理等の状況に係る届出の場合

ア 貯蔵危険物の水分管理要領及び管理記録書類

イ タンク材料に対する腐食性の有無が確認できる書類

ウ その他

(4) 危険物保安技術協会の技術援助を受けた場合

ア (1)アの書類

イ 「タンク開放周期の個別延長に係る技術援助報告書」の写し

ウ その他

2 事務処理上の留意事項

- (1) すでに施工されているコーティングについては、保安のための措置には該当しないものであること。
- (2) 当該特定屋外タンク貯蔵所の維持管理に起因する事故の発生等、危険物規則第62条の2の2に掲げるいずれかの要件が欠けた場合、又は危険物の貯蔵管理等の状況が良好なことにより内部点検の時期延長が認められた特定屋外タンク貯蔵所の中途での油種、管理方法等の変更が生じた場合等は原則として当該延長は取り消されるものであること。

第21の3 休止中の地下貯蔵タンク等の漏れの点検期間延長申請

(危険物規則第62条の5の2、第62条の5の3)

- 1 休止中の地下貯蔵タンク等の漏れの点検期間延長申請に必要な書類及び編さん
休止中の地下貯蔵タンク等の漏れの点検期間延長申請に必要な添付書類は、次のとおりとし、編さん順序は、必要な添付書類の掲載項順に編さんすること。
 - (1) 休止中の地下貯蔵タンク又は二重殻タンクの漏れの点検期間延長申請書（危険物規則様式第42）又は休止中の地下埋設配管の漏れの点検期間延長申請書（危険物規則様式第43）
 - (2) 理由書
 - (3) 危険物の除去方法、危険物又は可燃性蒸気の流入防止措置に関する書面
 - (4) 対象となる地下貯蔵タンク又は地下埋設配管が判別できる資料（平面図等）

- 2 事務処理上の留意事項
 - (1) 次の事項について現場調査等により確認すること。
 - ア 危険物が清掃等により完全に除去されていること。
確認事項としては、タンク底部まで吸い込み管を伸ばし可搬式エアーポンプを使用するなどにより、可能な限り危険物が除去されていることとする。
 - イ 危険物又は可燃性蒸気が流入するおそれのある注入口又は配管に閉止板を設置する等、誤って危険物が流入するおそれがないようにするための措置が講じられていること。
 - (2) 製造所等の20号タンク、給油取扱所の専用タンク又は地下埋設配管等の場合については、当該施設に附属する地下貯蔵タンク等1基ごと又は配管1本ごとに漏れの点検期間の延長をすることができる。
また、申請書は1の危険物施設ごとに提出することとし、1の申請書に附属する複数の地下貯蔵タンク等について記載することができる。
 - (3) 地下貯蔵タンク本体又は二重殻タンク外殻の漏れの点検期間を延長する際、当該タンクの存する危険物施設に附属する地下埋設配管の漏れの点検期間も併せて延長する場合は、危険物規則別記様式第42及び別記様式第43の両方の申請が必要になることに留意すること。